**令和3年度ふるさと納税　全国から温かい支援がありました**

問い合わせ 政策課行政改革担当 電話23-2129

　ふるさと納税制度は、自分が生まれ育った「ふるさと」に貢献したい、自分と関わりが深い自治体を応援したいなどの気持ちを形にする制度です。

　令和3年度は、全国から約3万6千件、総額5億6千万円を超える寄付がありました。

寄付金は、指定された使い道に沿って、市のさらなる発展のために有効に活用します。

　今後も、ふるさと納税制度を活用しながら、より良いまちづくりを進めていきます。

問い合わせ 農林振興課農村整備担当 電話23-2318

**このような事業に活用しています**

写真：地場産品を使用した学校給食（事業①）

写真：小学校社会科副読本の作成（事業②）

写真：緊急排水ポンプの整備（事業③）

写真：岩出山公民館自主文化事業の開催（事業④）

■令和3年度のふるさと納税の主な使い道

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事業 | 使い道 | 金額 |
| 1. 世界農業遺産の資源を保全するための事業 | 世界農業遺産の普及啓発やのある農村景観の保全・活用の取り組みに対する支援、インバウンド向け観光パンフレットの制作、地場産品を使用した学校給食事業など | 2581万円 |
| 1. 未来を担う人材育成のための事業 | 小・中学校の教材・図書・保健備品の購入、給食機器の更新、保育施設の改修、遊具の更新、小学校社会科副読本の作成など | 9394万円 |
| 1. 安全・安心に暮らすための事業 | 災害用備蓄品の購入、防犯灯の設置、緊急排水ポンプの整備、福祉施設の設備改修・器具修繕など | 9432万円 |
| 1. 活力あふれる大崎市をつくるための事業 | 道の駅・観光施設の設備改修、公民館での各種教室事業の開催、松山ふるさと歴史館・旧有備館および庭園での企画展の開催、オニコウベスキー場の施設整備など | 1億4256万円 |
| 1. ふるさと大崎市応援のための事業 | 震災記録誌「東日本大震災からの復興のあゆみ」の作成など | 654万円 |
| 1. 令和元年台風19号被害からの復旧・復興のための事業 | 防災無線の親機更新、水防倉庫への救命胴衣配備など | 1億610万円 |